2025 年 9 月 10 日
東日本旅客鉄道株式会社
株 式 会 社 A M A N E
ジオテクノロジーズ株式会社

千葉駅を起点とするモビリティハブ「千葉ぷらっと」の実証実験を実施します
～移動と生活サービスが融合した新たな都市機能の可能性を検証～

○ 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：喜勢　陽一、以下「JR 東日本」）、株式会社 AMANE（本社：東京都港区、代表取締役：井上　佳三）、ジオテクノロジーズ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：八剱　洋一郎）は JR 東日本主催「WaaS 共創コンソーシアム*1」の実証実験として、2025 年 9 月 18 日（木）より千葉駅と周辺エリアにてモビリティハブ*2 を設置します。
○ モビリティハブではシェアサイクルや特定小型原動機付自転車（以下「特定小型」）、カーシェアリングなどの「移動サービス」と飲食や物販などの「生活サービス」を提供します。愛称は「千葉ぷらっと」とし、ぷらっと立ち寄って、新しい出会いが生まれるようにとの思いを込めました。
○本実証実験は地域経済やコミュニティの活性化、最終的には、駅を中心とした街の価値向上を目指し、JR 東日本のグループ経営ビジョン「勇翔 2034」における LX（Lifestyle Transformation）の実現にむけて取組みます。

※1「WaaS 共創コンソーシアム」は、Well-being な社会の実現に向けて、移動×空間価値の向上をめざすコンソーシアムです。
（https://www.jreast.co.jp/jrewcc/）

※2 複数の移動手段を集約し、利用者の移動をシームレスかつ快適にするモビリティ拠点です。

１．背景・目的

市街地において、駅からほど近い、公共交通機関よりも徒歩が選択されがちなエリアにおいて、その利便性を高める手段として、シェアサイクルや特定小型などが注目されています。

本実証実験では、千葉駅周辺エリアにモビリティハブ「千葉ぷらっと」を試験的に展開し、移動の利便性向上や流動の創出、地域の賑わい向上などの効果について検証します。

２．概要

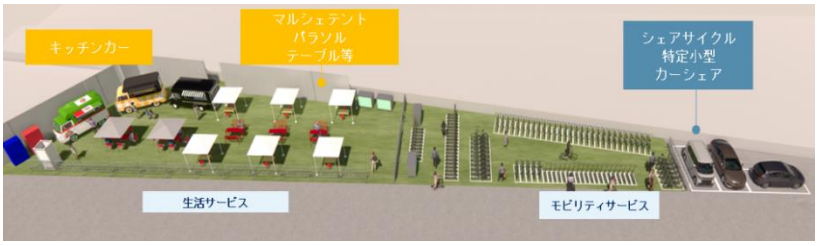
（１）期間

2025 年 9 月 18 日（木）～2026 年 1 月 30 日（金）予定

※期間中、千葉駅前ポートにて電気設備工事を実施します。

（２）場所（4 箇所）

①千葉駅前ポート
②千葉中央公園前ポート
③千葉市美術館駐輪場ポート
④千葉市立郷土博物館駐車場・記念碑ポート



＜千葉駅前ポートイメージ＞
モビリティハブのメインポート
すべてのモビリティと生活サービスがメインポートに集約します。

千葉ぷらっと

＜千葉ぷらっとロゴイメージ＞

＜千葉ぷらっとの展開箇所＞

（3）サービス内容

①移動サービス

シェアサイクルや特定小型、カーシェアリングなど複数のモビリティのレンタルサービスを提供します。立乗り三輪モビリティと Lime ラクモはシェアリングサービスとして千葉県内では初導入です。

種類	利用料金	乗り捨て可否	事業者
シェアサイクル	30 分 160 円 （シティサイクル） 30 分 200 円 （スポーツタイプ）	HELLO CYCLING のサイクルステーションで可能	OpenStreet㈱
電動サイクル （特定小型）	15 分 200 円	HELLO CYCLING のサイクルステーションで可能	OpenStreet㈱
立乗り三輪モビリティ （特定小型）	60 分 700 円	乗り捨て不可	㈱ストリーモ
Lime ラクモ （特定小型）	15 分 90 円	千葉ぷらっとのモビリティハブ間で可能	Lime㈱
カーシェアリング	ベーシック 15 分 220 円	乗り捨て不可	タイムズモビリティ㈱

※利用料金は従量課金制になります。

※立乗り三輪モビリティは 12 月 18 日で終了します。

※詳細や追加情報は特設サイトでご案内します。

＜提供する移動サービスのイメージ＞

Lime㈱　Lime ラクモ（着座式電動シートボード）

㈱ストリーモ　立乗り三輪モビリティ

②生活サービス

キッチンカーやマルシェなど、訪れた方がくつろぎ、地域の方々が集えるコンテンツを提供します。キッチンカーやマルシェの出店期間や出店日は特設サイトにてご確認ください。

※生活サービスは千葉駅前のみのサービスです。

③イベント

＜試乗会＞

日時：2025 年 9 月 23 日（火）10 時 30 分～13 時 30 分　予定

場所：JR 千葉駅中央改札外コンコース

内容：Lime ラクモの試乗会

＜千葉ぷらっと開業イベント＞

日時：2025 年 9 月 28 日（日）11 時～14 時　予定

場所：千葉ぷらっと　千葉駅前ポート

内容：Lime ラクモ、立ち乗り三輪モビリティの試乗会、キッチンカー出店

他にも試乗会、千葉国際芸術祭などの地域イベントとの連携したイベントを実施する予定です。追加情報は特設サイトで随時お知らせします。

④特設サイト

各種サービスの詳細やイベント情報は以下の特設サイトをご確認ください。

URL：https://chibaplatto-mobilityhub.studio.site

特設サイト二次元コード

3．今後の展望

本実証実験で得られた知見をもとに、移動利便性の向上や地域回遊の促進に向けたサービス・運営手法の検証を進めます。自治体・事業者との連携を深め、駅中心のシームレスな移動環境の整備を図ります。他エリアへの展開も視野に入れ、沿線価値の向上と地域の魅力発信に取り組んでまいります。

参考

○本実証実験の枠組

本実証実験は、JR 東日本が主催するオープンイノベーションの取組みである「WaaS 共創コンソーシアム」の実証実験として取り組みます。

千葉駅を中心とした地域の住民と来街者の移動利便性を高め、すべての人々の暮らしと地域の活力を生み出す基盤としての Well-being を達成します。

＜実証体制＞

	企業名	実証実験での役割
実証実験参加企業	株式会社ＡＭＡＮＥ（幹事）	実証実験の全体推進
	ジオテクノロジーズ株式会社	利用者の人流解析
協力企業・団体 （50 音順）	OpenStreet 株式会社	モビリティ提供
	株式会社ジェイアール東日本都市開発	キッチンカー出店企業募集
	株式会社ストリーモ	モビリティ提供
	千葉市	モビリティハブ用地の提供
	株式会社千葉ステーションビル	モビリティハブ用地の巡回およびマルシェ開催・運営サポート
	タイムズモビリティ株式会社	モビリティ提供
	東京大学不動産イノベーション研究センター	利用者の人流解析
	Lime 株式会社	モビリティ提供
コンソーシアム主催企業	東日本旅客鉄道株式会社	実証実験の統括および管理